

1. チャレンジ奨学金受給者の声

60万円の一括給付型であるチャレンジ奨学金を受給しました。挑戦することを宣言していた研究活動は以下の3点です。

- ・長期フィールド調査
- ・突発的に発生する事例調査
- ・学会や研究会への参加と論文発表

申請目的は、アルバイトに割く時間を減らし、学業や研究へ邁進する時間と資金を確保するためでした。私は保護者の資金援助を受けておらず、申請当時は貸与型を含む他の奨学金制度と授業料免除制度を活用し、食費等を削減しながらアルバイトによる収入で学生生活を維持していました。

支給額のおよそ半額を研究活動資金とし、残りの奨学金を家賃と授業料へ充てることで、アルバイト時間を約25%削減することができ、チャレンジすることを掲げていた三つの研究活動をはじめ、多くのことに挑戦することができました。

更に、申請当時は収入が不安定なことを理由に大学院進学を断念する可能性がありましたが、60万円という大きな金額を支給して頂いたことは進学を決意する後押しとなりました。その後は、大学院に合格したのみならず、学部内における優秀賞や、参加した学会でのポスター賞をいただきました。これらは自信に結び付くと共に、新たな奨学金や助成金を申請する際に活用できる実績へと繋がりました。誠に有難うございました。

2. 一般奨学金受給者の声

私は学部1年の前期に採用となり、月3万円を4年生の末までいただく一般奨学金を受給しています。

ひとり親家庭で育ち、父からの経済支援の打ち切り、母の失職など経済的に苦境にある中、支援のおかげで、それまでと同じような生活をなんとか維持できています。周りの学生と同じように普通の学生生活を送れていることが何より幸せです。また、支援を頂いているのは私ですが、私以上に母が感謝しています。母の気持ちとして、経済的不安を覚えながら子育てをするのはかなり苦しかったそうです。今回の支援により、ある程度経済的な不安が解消され、心にゆとりを持った生活を送れるようになりました。本当に感謝しています。